

せかい！動物かんきょう会議

地球は人間だけのものじゃない。だから人間たちだけにまかせちゃいけない！
異文化コミュニケーション手法で、クリエイティブでチャレンジ精神旺盛な
「次世代人財」を育成する。

株式会社ヌールエ デザイン総合研究所 代表
せかい！動物かんきょう会議プロジェクト

原作者&総合プロデューサー **イアン筒井**

SDGs + 1 (子どもたち)

SDGsは「環境×社会×経済」の3要素で語られることが多く、SDGsの17項目をバラバラにして自分たちの活動をカテゴライズするために使用されているようにも見える。しかし、子どもたちが生きる未来社会の課題は17項目全てが関係し合っているということを忘れていないだろうか？

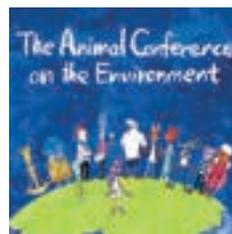
スウェーデンの16歳のグレタさんは、大人たちに“未来を返して”と怒っている。どうしたらいいのかが分からないから問うたのである。オーストラリアの森でコアラやカンガルーなど多くの野生動物が大量に死んでいくニュースを目の当たりにした子どもから、「お父さん、どうして誰も火を消すことができないの？」と質問された時、ちゃんと答えることができるだろうか？ 実は、私たちは、このようなテーマを本気で考える体験をほとんどしてこなかった。答えてくれない大人たちに幻滅し、未来世代から無責任だと言われているのだから、もっと本気でSDGsの本質と向き合い、それを態度で示していく必要があるのではないだろうか。

「新たな世界」が見えてくる

「動物かんきょう会議」は、1997年の地球温暖化防止京都会議(COP3)と共に始まった。「動

物になって考えよう！」を合言葉に、世界の子どもたち、大学生、大人たちが、さまざまな動物や生き物の立場に立って参加する。そして、他者を尊重し、認め合い、心を開いたコミュニケーションを重ねていく。このような体験型ワークショップを通して、多角的な視点でものごとを捉え、未来の幸せな地球環境をつくる人財育成を目指している。

2002年に絵本マガジンシリーズ『動物かんきょう会議』を発行し、10年にはNHKのEテレにて全国地上波放送のアニメシリーズ(1話5分 全20話)を製作した。15年に、環境省のESD(持続可能な開発のための教育)環境モデルプログラムに上位採択され、2017年に第11回キッズデザイン賞の優秀賞「消費者担当大臣賞」を受賞している。



©せかい！動物かんきょう会議

UBEで「未来を担う人財育成」

18年に山口県宇部市の久保田^{きみこ}后子市長とご縁をいただき、全国初の全園生息環境展示の「ときわ動物園」の特徴を活かしたオリジナルプログラムがスタートした。このプログラムでは子どもたちが、^{おり}檻がなく生き生きと動き回る動物たちを間近に見て、専門家である飼育員から動